

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1997年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理事業は、国庫(3,800,000円)、県費(1,900,000円)の補助金の交付を受け、平成9年4月7日から平成10年3月31日まで実施した。
3. 調査組織
調査主体者 大井町教育委員会
担当課 生涯学習課文化財保護係
教育長 遠藤正明
生涯学習課長 池本敏雄
文化財保護係長 喜多川泰実
文化財保護係・発掘調査担当者 坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
大井町臨時職員(発掘調査補助員)・発掘調査担当者 土本医
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
執 筆：鍋島直久・今井堯
土器実測：石垣ゆき子、山口妙子 石器実測：高橋けい子、土本医、石原聡
陶磁器実測：石垣ゆき子 石器拓影：石垣ゆき子、高橋けい子、山口妙子
土器復元：中田藤子 トレース：小林登喜枝、高橋けい子
図版作成：高橋けい子、中田藤子、石垣ゆき子、山口妙子、須藤さち子、丹治つや子
表作成：青山奈保美、小澤千恵子
遺構写真：坪田幹男・高崎直成・鍋島直久・土本医 遺物写真：鍋島直久
土器・石器実測の一部を(有)文化財COMに委託した。
また、整理事業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。
会田昭明、浅野晴樹、石原聡、穴澤義功、荒井幹夫、市丸靖子、今井堯、内田賢司、岡田憲治、小澤千恵子、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、島田一郎、鈴木裕子、鈴木仁子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治(敬称略)
埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、(有)文化財COM。
6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
<発掘調査参加者>(敬称略)
新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、若尾久美子、若林紀美代。
<整理事業参加者>(敬称略)
青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、小林登喜江、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として以下のとおりである。
遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30
土器実測図 1:4 土器拓影図・石器実測図 1:3
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
攪乱  地山(ローム)  焼土  土器(片) ● 石器 ★ 礫 △
 - (4) 土器実測図におけるscreen-tone  の指示は、地文の縄文または撚糸文を示す。
 - (5) 土器、陶磁器の実測図で中心線が点線の場合は180度回転させて復元実測したことを示す。
 - (6) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1997年度埋蔵文化財調査一覧表

() 内は本調査期間

No.	遺跡・地点	所在地	面積(㎡)	原因	調査期間	調査措置
1	亀居遺跡第49地点	亀久保1007-14	214	店舗併用住宅	9.11.6～9.11.10	試掘
2	亀居遺跡第50地点	亀久保1007-5	197.99	個人住宅	10.2.6 (10.2.9～10.2.20)	試掘後教育委員会 で本調査
3	鶴ヶ舞遺跡第4地点	鶴ヶ舞1-60-6、60-10	318.48	共同住宅	9.8.26～9.8.29	試掘
4	鶴ヶ舞遺跡第5地点	鶴ヶ舞1-61-3	266.97	分譲住宅	9.11.4～9.11.6	試掘
5	江川南遺跡第8地点	東久保7街区1画地	50	墓地移転	9.10.13～9.10.15	試掘
6	東久保遺跡第8地点	東久保18街区12画地	305	個人住宅	9.7.29～9.8.2	試掘
7	東久保遺跡第9地点	亀久保279、280	2,117	共同住宅	9.8.18～9.8.28 (10.3.1～10.5.18)	試掘後遺跡調査会 で本調査
8	東久保遺跡第10地点	東久保19街区	1,067	分譲住宅	9.9.2～9.9.10	試掘
9	亀久保堀跡遺跡第2地点	東久保6街区4、5画地	127.71	個人住宅	9.9.11～9.9.25	試掘
10	亀久保堀跡遺跡第3地点	東久保6街区7、8画地	130	個人住宅	9.9.11～9.9.25	試掘
11	亀久保堀跡遺跡第4地点	東久保6街区9、10画地	113	個人住宅	(9.9.11～9.9.25)	教育委員会で本調査
12	亀久保堀跡遺跡第6地点	東久保6街区11、12画地	102	個人住宅	9.9.11～9.9.25	試掘
13	亀久保堀跡遺跡第7地点	東久保32街区5、6画地	739	店舗	9.10.29～9.11.4 (10.2.2～10.2.19)	試掘後遺跡調査会 で本調査
14	亀久保堀跡遺跡第8地点	東久保32街区2画地の一部	318	共同住宅	10.2.6～10.2.19	試掘
15	亀久保堀跡遺跡第9地点	東久保5街区9、10画地	131	個人住宅	(10.2.24～10.3.10)	教育委員会で本調査
16	東中学校西遺跡第4地点	東久保326外	24,681	店舗	9.2.6～9.10.29 (9.6.12～9.7.31)	試掘後遺跡調査会 で本調査
17	東中学校西遺跡第6地点	亀久保325-1、7、8、9	135.62	事務所	9.6.26～9.6.27	試掘
18	東中学校西遺跡第8地点	東久保44街区13、14画地	251.94	個人住宅	(9.8.5～9.8.9)	教育委員会で本調査
19	東中学校西遺跡第9地点	東久保45街区2、3画地	324.70	個人住宅	9.8.19～9.9.1	試掘
20	東中学校西遺跡第10地点	東久保42街区1画地	135.19	店舗	9.12.10～9.12.20	試掘
21	東中学校西遺跡第12地点	東久保44街区3、23、24画地	1,879	店舗	10.1.6～10.1.24	試掘
22	東久保南遺跡第12地点	東久保64街区1画地	446	個人住宅	9.5.8～9.5.16 (9.5.19～9.6.7)	試掘後教育委員会 で本調査
23	東久保南遺跡第13地点	東久保62街区1、2、3画地	460	個人住宅	(9.8.25～9.9.1)	教育委員会で本調査
24	西ノ原遺跡第100地点	苗間150-2	447	共同住宅	9.4.5～9.4.12	試掘
25	西ノ原遺跡第101地点	苗間183-1、3	187	モデルハウス	9.7.22～9.7.25	試掘
26	西ノ原遺跡第102地点	大井苗間22街区5画地	179	個人住宅	9.10.9～9.10.20	試掘
27	西ノ原遺跡第104地点	大井苗間22街区2画地	223	個人住宅	9.10.6～9.10.8	試掘
28	西ノ原遺跡第105地点	苗間125-2、126-2	565	共同住宅	10.1.13～10.2.12	試掘
29	西ノ原遺跡第106地点	苗間112	135.58	個人住宅	10.1.28～10.2.4	試掘
30	西ノ原遺跡第107地点	苗間112	135.56	個人住宅	10.2.9～10.2.13	試掘
31	西ノ原遺跡第108地点	苗間91-1、92-1、99-1各一部	413	個人住宅	10.3.3 (10.3.4～10.3.17)	試掘後教育委員会 での本調査
32	西ノ原遺跡第109地点	苗間83-4	429	店舗付共同住宅	10.3.11～10.3.18	試掘
33	中沢前遺跡第14地点	苗間191-1、191-4	310	店舗	10.2.26～10.3.2	試掘
34	神明後遺跡第6地点	苗間255、227-2	150.79	個人住宅	9.9.29～9.9.30	試掘
35	苗間東久保遺跡第20地点	苗間637-18、19	664	分譲住宅	10.3.18～10.3.24 (10.6.15～10.8.13)	試掘後遺跡調査会 で本調査
36	浄禅寺跡遺跡第16地点	苗間579-1	291	個人住宅	(9.11.10～9.12.19)	教育委員会で本調査
37	小田久保遺跡第4地点	大井1185-5	271	分譲住宅	9.6.24～9.6.26	試掘
38	本村遺跡第60地点	大井129	320.06	分譲住宅	9.6.2～9.6.14	試掘
39	本村遺跡第61地点	大井76	134.66	個人住宅	9.6.4～9.6.14	試掘
40	本村遺跡第62地点	大井342	1,947	共同住宅	9.6.30～9.7.18 (9.10.21～10.1.20)	試掘後遺跡調査会 で本調査
41	本村遺跡第63地点	大井380	154	個人住宅	9.10.31～9.11.1	試掘
42	本村遺跡第64地点	大井苗間101街区1画地の一部	134.60	個人住宅	9.10.13～9.10.18	試掘
43	本村遺跡第65地点	大井110-2	391	学校増築	10.3.6～10.3.13 (10.4.16～10.5.21)	試掘後遺跡調査会 で本調査
44	本村遺跡第66地点	大井苗間93-1街区8、9画地	179	駐車場	10.2.7～10.2.16	試掘
45	本村遺跡第67地点	大井苗間82街区	140	個人住宅	10.3.25～10.3.26	試掘
46	東台遺跡第29地点	大井606-3	500.27	個人住宅	10.2.27～10.3.3 (10.3.4～10.3.5)	試掘後教育委員会 で本調査
調査面積合計			42,812.12			

IX 西ノ原遺跡の調査

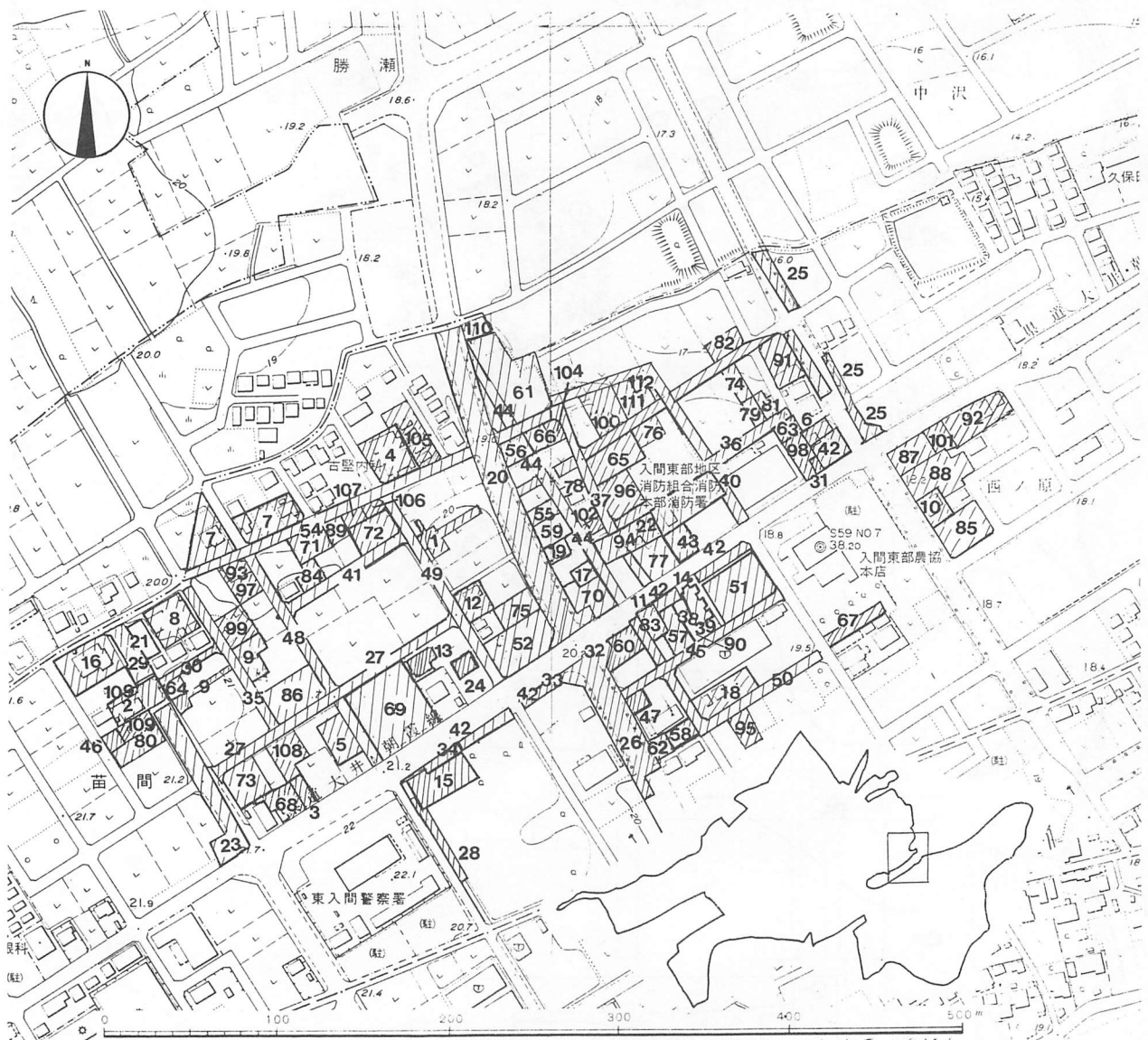
1 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18m～21.0mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。且つては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

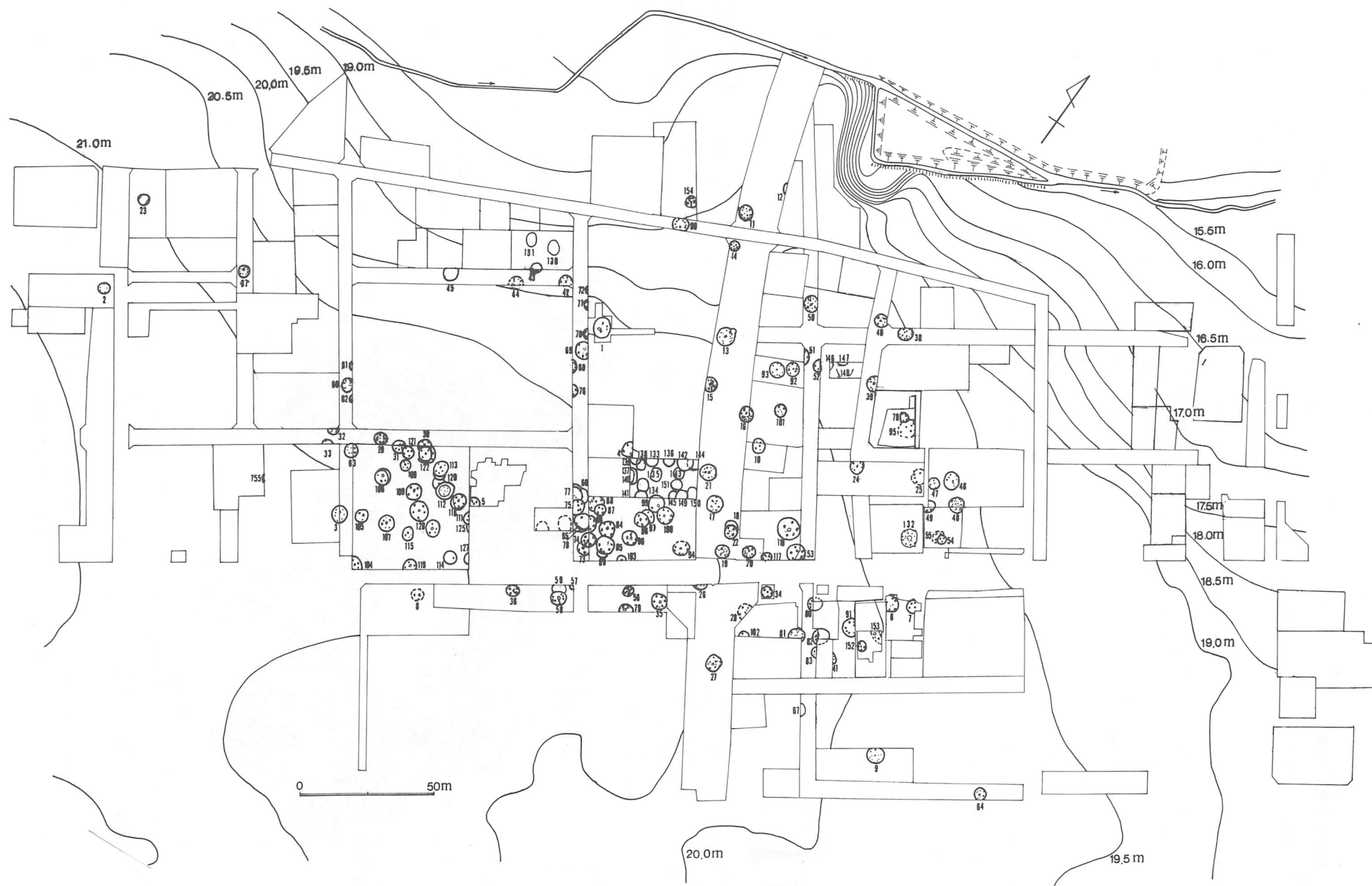
本遺跡の発掘調査率は町内遺跡群では突出している。昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であ

ったが、ここ数年開発の増加により遺跡の破壊が進んでいる。と、同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40%が調査されてきている。これまで約110箇所余りに及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、確認された遺構と遺物から旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、150軒を越す住居跡が環状集落として形成され、町内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。

1999年3月31日現在の調査状況によると、縄文時代中期の住居跡が155軒確認されている。



第42図 西ノ原遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第43図 西ノ原遺跡縄文時代中期住居配置図 (1/2,000)

2 西ノ原遺跡第100地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者から1997年4月3日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。遺跡地図と照合したところ、調査区は遺跡の北部にあたり、標高は17.5~18mと北西に向かって傾斜している。これまでの区画整理事業に伴う調査および周辺部の調査から、本調査区周辺には遺構が確認されている。このため原因者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在確認のための試掘調査を実施することとした。

調査区の長軸方向に幅約2mのトレンチを4本設定し、4月8日から重機による表土除去を行った後、人力による調査を行い、4月12日埋め戻しを終了した。

(2) 遺構と遺物

検出した遺構は、縄文時代土坑2基・ピット6基である。遺物は縄文土器片1点である。

①土坑1 平面形は不整形を呈する。規模は上端105×77cm、下端16×14cm、深さは確認面から28.4cmを測る。

②土坑2 平面形は不整形を呈する。規模は上端128×95cm、下端30×25cm、深さは確認面から42.9cmを測る。

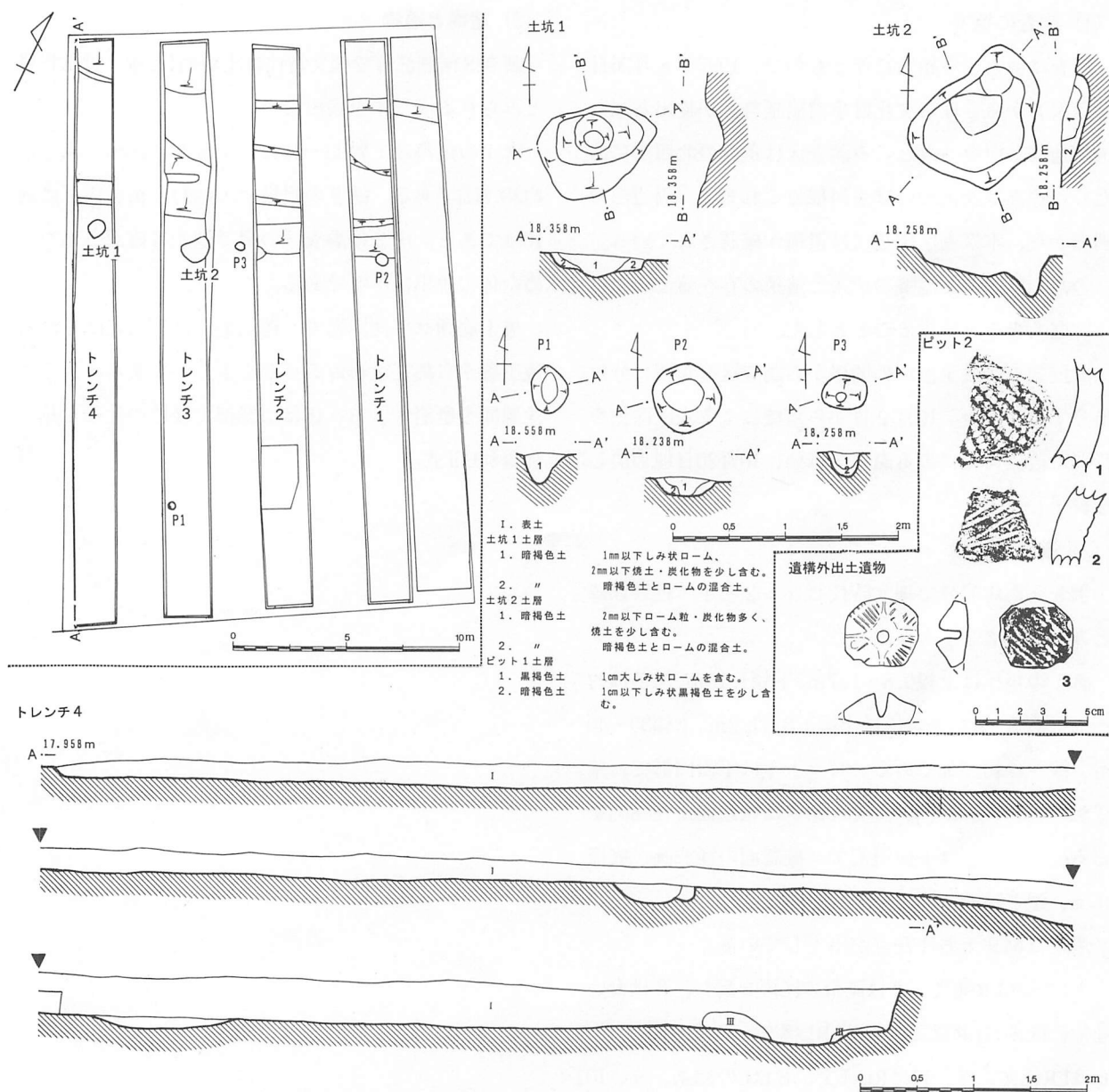
③ピット

第13表 西ノ原遺跡第100地点ピット一覧表 単位:cm

No.	確認面	底径	深さ	形態
1	43×33	27×15	24.6	円形
2	60×58	37×30	17.7	楕円形
3	48×30	9×9	37.2	楕円形

④出土遺物

1はRL縄文、2は条線文を施す。3はミニチュア建物の屋根である。1、2は縄文時代、3は近世である。



第44図 西ノ原遺跡第100地点遺構配置図 (1/300)・土坑・ピット・土層 (1/60)・出土遺物 (1/3)

3 西ノ原遺跡第101地点

(1) 調査の概要

調査はモデルハウス建設に伴うもので、1997年7月9日に原因者から「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。

遺跡地図と照合したところ、遺跡の縁辺部であるため遺跡範囲と遺構の存在確認のための試掘調査を実施することとした。

試掘調査は調査区の東西方向に幅約2mのトレンチを2本設定し、同年7月22日から25日まで重機による表土除去後、人力による調査を行った。遺構と遺物は確認されなかった。

4 西ノ原遺跡第102地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、1997年8月26日に原因者から「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。遺跡地図と照合したところ調査区は遺跡の北西部にあたり、標高は20mのほぼ平坦部でこれまでの周辺部の調査から、本調査区周辺には遺構が確認されている。このため原因者と協議の結果と遺構の存在確認のための試掘調査を実施することとした。

試掘調査は残土置場の関係から調査区を東西に分け、半分ずつ行った。10月9日から重機による表土除去を行った後、人力による調査を行い、10月20日埋め戻しを終了した。

(2) 遺構と遺物

調査区東側部分で縄文時代ピット2と中・近世以降とみられる溝2本を検出した。

溝1の規模は上幅0.8~1.7m、下幅1.15m、深さは約25cmである。溝2の規模は上幅0.8~1.2m、下幅30~40m、深さは約26cmである。ピット1は平面円形で、確認面の径40×30cm、底径20cm、深さは確認面より48cmを測る。ピット2は平面円形で、確認面の径22cm、底径10cm、深さは確認面より24cmを測る。

遺物は縄文土器片79点が出土している。

1は口縁部LR縄文、2は隆帯の区画を配し、3は太い隆帯の区画にLR縄文、4はLRL縄文、5はRL縄文、6はLR縄文、7、14はRL縄文、8はLの撚糸、9、10、13は沈線、11、12は条線文を施す。1~14は縄文時代中

期後半加曽利E式に含まれるものである。

5 西ノ原遺跡第104地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者から1997年9月25日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。遺跡地図と照合したところ、調査区は遺跡の北西部にあたり、標高は19.5~20mで北西に傾斜している。これまでの周辺部の調査から、本調査区周辺には遺構が確認されており原因者と協議の結果、遺構の確認のための試掘調査を実施することにした。

調査区の東西方向に幅約2mのトレンチを3本設定し、10月6日から重機による表土除去を行った後、人力による調査を行い10月8日埋め戻しを終了した。

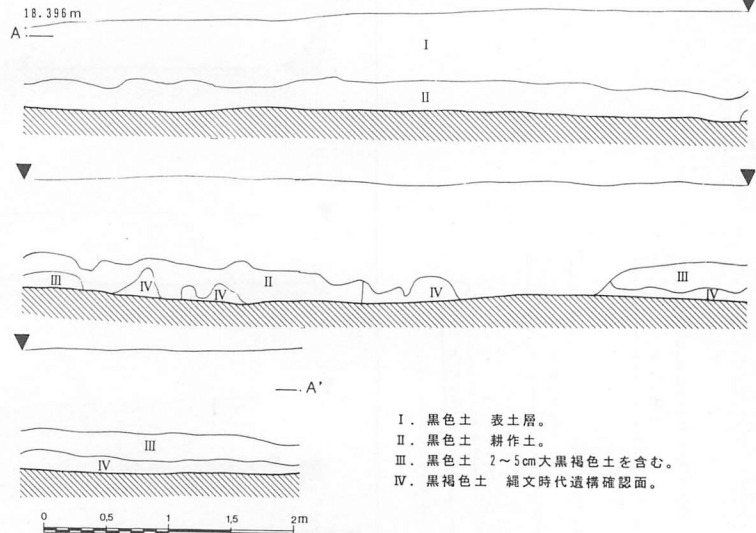
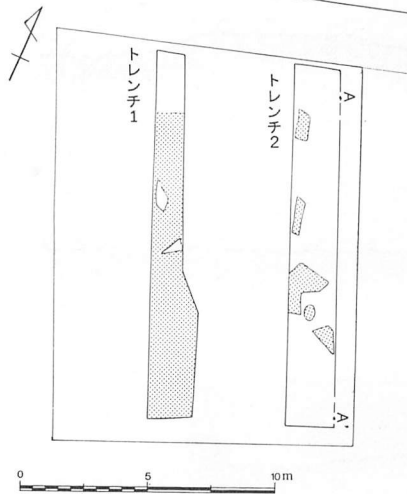
(2) 遺構と遺物

調査区南側部分で縄文時代焼土範囲1と中・近世以降とみられる溝2本を検出した。

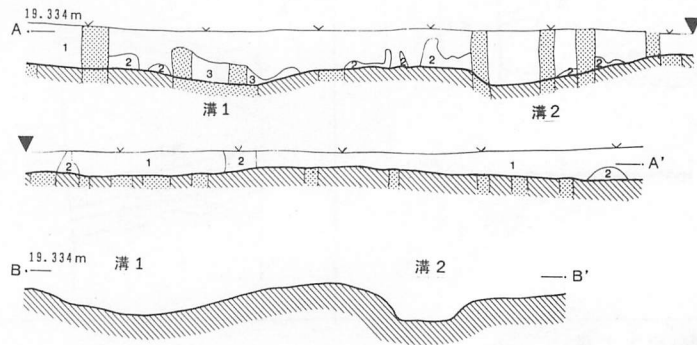
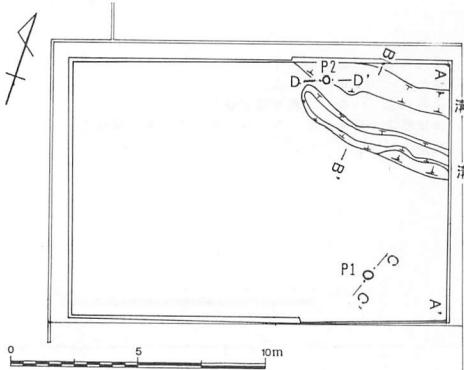
溝1の規模は上幅33~44cm、下幅8~16cm、深さは約28.8cmである。溝2の規模は上幅約1m、深さは約10cmである。溝2は調査区の隅で僅かに確認されたため全体の規模は不明である。

焼土範囲は平面円形で、確認面の径37×45cmを測る。焼土層から縄文土器片5点が出土している。8、9は沈線間を磨消す、11、16は口縁部で横位の沈線を施す。加曽利EⅡ式。

101地点



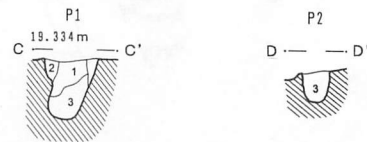
102地点



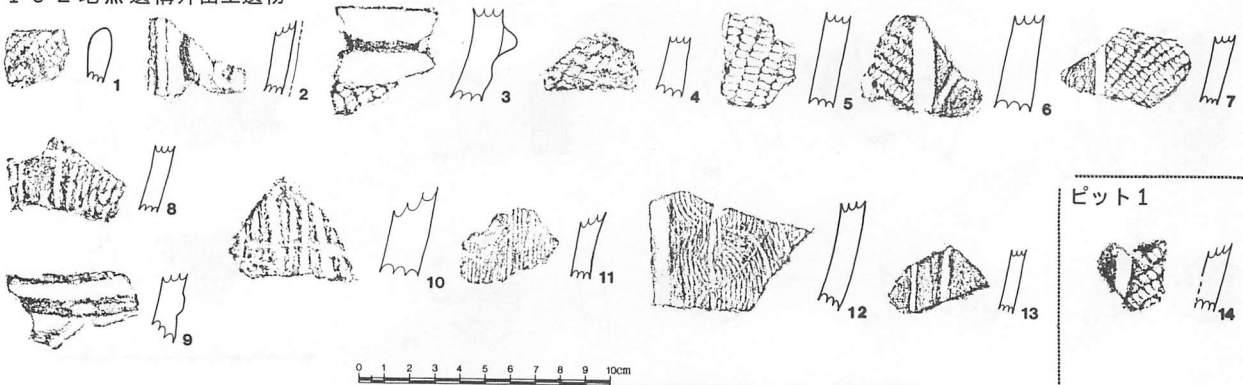
- I. ロームブロックを多く含む。
II. ローム土。
III. 黒褐色土。

ピット1・2土層

1. 茶褐色土 締まり強い。
2. 黄褐色土 ほとんどロームブロック層。
3. 茶褐色土 2mm以下ローム粒を多く含む。



102地点遺構外出土遺物



第45図 西ノ原遺跡第101・102地点遺構配置図 (1/300) ・土層・第102地点ピット (1/60) ・出土土器 (1/3)



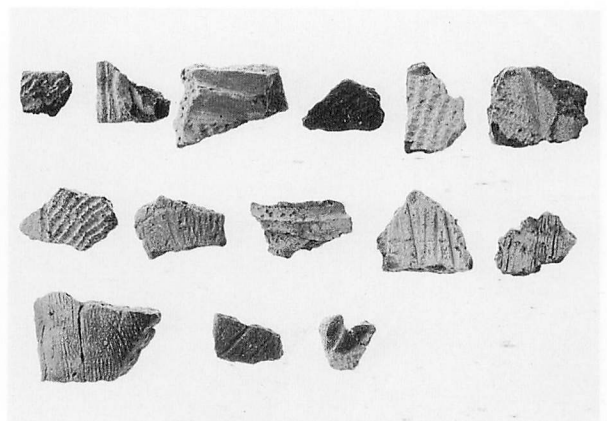
西ノ原遺跡第101地点近景



西ノ原遺跡第101地点試掘



西ノ原遺跡第102地点東側調査区全景



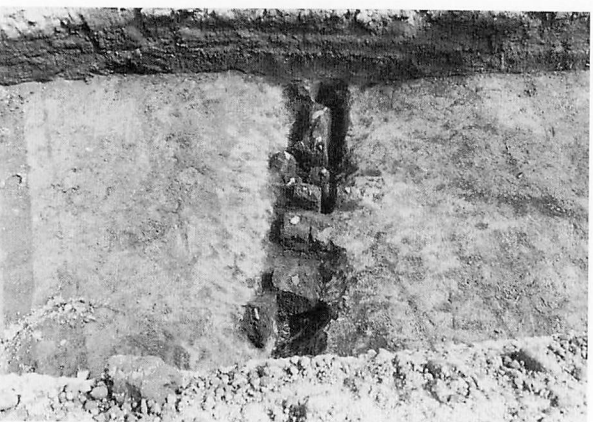
西ノ原遺跡第102地点出土土器



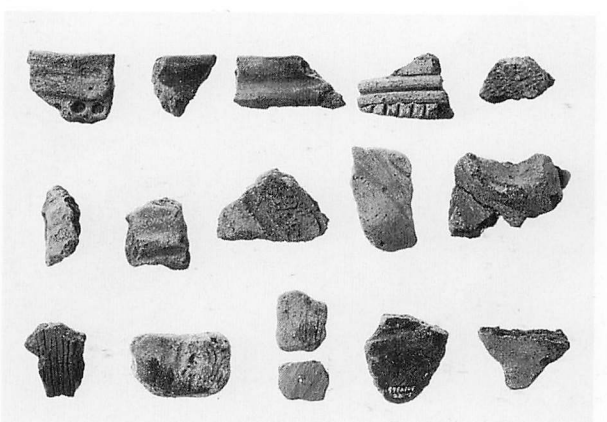
西ノ原遺跡第104地点試掘



西ノ原遺跡第104地点焼土



西ノ原遺跡第104地点溝遺物出土状態



西ノ原遺跡第104地点出土土器